

阪神・淡路大震災復興30年

合唱コンサート『忘れない 1995.1.17 in とよなか』

『進んだ時計、止まった時計』

それぞれの思いを刻んだ30年
～そして、未来に向けて～

2025年1月18日(土)

開場 18時45分 開演 19時15分

豊中市立文化芸術センター・アクア文化ホール

主催：豊中市合唱協会 共催：豊中市

協力：豊中市社会福祉協議会 後援：豊中市文化芸術連盟

◆ 能登地方の物産展
◆ 阪神・淡路、東日本、熊本、能登半島地震等の写真展示

うた

と、
ともに、
とよなか

TOYONAKA

阪神・淡路大震災復興30年に向けて

合唱コンサート『忘れない 1995.1.17 in とよなか』の開催を心からお慶び申し上げます。
阪神・淡路大震災は、言葉では言い表せない恐怖や不安、喪失感といった心の傷を残しました。
本日は、合唱の美しい歌声とハーモニーで、ご来場の皆様の心を癒すとともに、歌う方も聴く方も
合唱を通じて想いをひとつにして、明日へとつなげる機会となることを願っています。
結びに、豊中市合唱協会並びに。本日ご来場の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



豊中市長 長内 繁樹

本日は「阪神・淡路大震災復興30年合唱コンサート」にご来場いただき誠にありがとうございます。
30年前の阪神・淡路大震災（死者：6,434名、被害家屋：約24万棟）では、豊中市は府内で一番被害（死者：10名、被害家屋：約1,200戸）が大きい中、手を取り合い、力を合わせて困難を乗り越えてきました。支援物資の提供、ボランティアの活動、そして心温まるエピソードの数々が、この地域の絆を一層強くしました。

この30年間で日本では、新潟県中越地震（2004年）、東日本大震災（2011年）、熊本地震（2016年）、北海道胆振（いぶり）東部地震（2018年）、福島県沖地震（2021年）、能登半島地震（2024年）と、数年ごとに大きな地震が起こっています。
合唱協会は2013年より石巻市と合唱交流を始め、2023年10月には交流10年を記念した「第二回石巻復興音楽祭」を石巻のかなんホールで開催。地元小学生の詩に石若雅弥先生が作曲した「未来への思い」を制作しました。

また、2015年の震災復興20周年では、豊中市内の子どもたちの詩に岡村星見先生が作曲した「花を咲かせよう」を制作。本日は二曲とも演奏いたします。

各地の震災施策がようやく落ち着きはじめて2020年には新型コロナ禍で再び地域コミュニティが分断されました。豊中市合唱協会も多くの合唱団が団員数の減少で解散を余儀なくされ、協会の加盟団体数も70から47に減少しました。

本日の「忘れない 1995・1・17 in とよなか」は、失ったものへの哀悼の意を表しつつ、私たちが一番大切にしてきた「心の復興」を願って開催します。皆さまと一緒に新たな未来と希望を育む大切な一日にして参りましょう。
最後に、ホワイエでは震災の写真展示や防災グッズ、能登半島の物産展をご用意しています。
短い時間ですが、是非有意義な時間をお過ごしください。

豊中市合唱協会会長 阪本 吉次郎

30年の間の幾つもの大きな自然災害
そして 近い将来 南海トラフで起きるとされている巨大地震

私たちは立っていた場所がほんの少し違っていただけ
偶然助かったのかもしれない
だとしたら 今度は「過去の偶然」に経験をプラスして
あなたとあなたの大切な人を守る…

だけど

いつ起きるかわからない災害のために緊張感を持ち続けるのは難しいです

災いから歳月を経た節目に行事を催すのは
今日だけでも過去の経験を少し思い出して 心の隅に置いてみる
いつかそれが役に立つかもしれない
そんな役割があるのではないのでしょうか

時が進むことで乗り越えられた記憶があります
あの日から止まったままの記憶もあります
どちらも 二度と同じ思いはしたくない
そう思っていたくだけでも 今日のことはきっと活かされると信じています

合唱コンサート

進んだ時計、止まった時計
～それぞれの思いを刻んで～

忘れない

1995.1.17inとよなか
～阪神・淡路大震災復興30年～

◆ 豊中ユース合唱団／豊中混声合唱団

指揮：西岡 茂樹 ピアノ：前田 萌衣

しあわせ運べるように (豊中ユース合唱団)

詞・曲：白井 真

群青 (合同)

詞：福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生 曲：小田 美樹 編曲：信長 貴富

心の瞳 (合同)

詞：荒木 とよひさ 曲：三木 たかし 編曲：古賀 藍

阪神・淡路大震災、東日本大震災を機に作曲された2曲、そして、日航の事故で亡くなった坂本九さんが夫婦・家族の愛と絆を歌った曲を演奏します。突然訪れた災難で別れても絆は結ばれているという気持ちを込めて歌います。

◆ 石巻で歌う会／アンサンブル・ティエラ／女声アンサンブル向日葵／とよなかダンディーボーイズ

指揮：阪本 吉次郎 ピアノ：森中 博子

ことば

詩：高橋 唯 曲：近藤 裕子

未来への思い (第二回石巻復興音楽祭委嘱曲)

詩：土田 結利佳 曲：石若 雅弥

ありがとうの花

詞・曲：坂田 おさむ 編曲：遠藤 真理子

川の流れるように

詞：秋元 康 曲：見岳 章 編曲：源田 俊一郎

「石巻で歌う会」は2013年4月開催の「石巻復興音楽祭」がきっかけで交流が始まりました。「ことば」「未来への思い」は石巻の小学生の詩から歌が出来ました。作詩の土田さんは震災の年に生まれ復興と共に育ちました。様々な思いが未来へ語り継がれることを願って歌います。

◆ 淀川区民合唱団／イベント合唱団／豊中市合唱協会有志

指揮：清原 浩斗 ピアノ：坂田 佳央理

とよなかレクイエム 花を咲かせよう (復興20年委嘱曲)

詞：豊中市立小学校のこどもたち 作詞補作 作曲：岡村星見

混声合唱のための宮崎駿アニメ映画音楽集

もののけ姫

詞：宮崎 駿 曲：久石 譲 編曲：信長 貴富

やさしさに包まれたなら

詞・曲 荒井 由実

「花を咲かせよう」は、豊中の小学生の詩に編曲でお世話になっている岡村星見さんが作曲して下さいました。あの震災を忘れない、あの悲しみを忘れない。復興を信じて震災に遭われた方々の心に希望の花が咲くことを願って歌います。

◆ 豊中市合唱協会合唱団

指揮：石若 雅弥 ピアノ：木村 恵美子

女声二部合唱のための「歌は歌に」より

詩：与謝野 晶子 曲：石若 雅弥

我友

女声二部合唱のための「光輝く未来へ」より

詩：伊藤 一樹 曲：石若 雅弥

桜

出逢い

ハッピー☆ブギ

詞・曲：服部 隆之 編曲：石若 雅弥

豊中市合唱協会合唱団は、石若雅弥先生が作曲、編曲された作品を練習致しました。阪神淡路大震災から30年を迎える豊中で、合唱を通じて多くの友と歌う喜び、「いのち」について見つめる機会になりました。本日は復興への感謝と希望を込めて歌います。

◆ 出演者合同 会場の皆さまも一緒に

指揮：石若 雅弥 ピアノ：木村 恵美子

群青

詞：福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生 曲：小田 美樹 編曲：信長 貴富

ホワイエでは、阪神・淡路をはじめこの30年間に日本各地で起きた地震災害に関する写真展示や昨年大きな地震に見舞われた石川県能登地方の物産展を開催しています。地球や自然の営みに抗うことはできませんが、それを教訓にして少しでも被害を軽減することは私たちにもできる筈。過去を振り返るのは、明日を生きる道しるべにもなります。コンサートのお帰りの際に、どうか足を止めてお立ち寄りください。防災に役立つ情報をまとめた資料もお配りしています。是非お持ち帰りください。

◆阪神・淡路、東日本、熊本、能登半島地震等の写真展示

各地で起きた地震災害に、阪神・淡路を経験した兵庫・大阪からも消防を中心に多くの方が救済応援に駆け付けました。ここに展示された写真は、街の姿と人々の生活を一瞬のうちに変えてしまう地震災害の驚異を如実に物語っています。



◆能登地方の物産展と防災関連資料の配布

石川県能登半島は、日本海の雄大な自然と豊富な幸に恵まれた北陸の名所。昨年の元旦に発生した能登半島地震によって甚大な被害を受けましたが、能登の皆さんは懸命にがんばっておられます。今日はホワイエに能登の名産をご紹介しますコーナーを設けました。地元の振興と復興を願って、是非、能登地方の物産展を覗いてみてください。

併せて本日の催しを、あなたの防災意識を高めるきっかけにさせていただければとの思いで防災に対する情報資料をお配りしています。是非お受け取りいただき、いつもより少し気をつけてみたり一番近い避難所はどこだろう、避難所までの道を想像してみるとか…何か一つでも考えることで、きっとそれは頭のどこかに留まると思います。少しでもお役に立てれば幸いです。

